

学校における働き方改革フォーラム概要

開催日時：令和 5 年 3 月 22 日（水） 15:30～17:00

開催方法：参加費無料・オンライン開催（Zoom）

申し込み方法：以下のリンクから申し込み可能

<https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=R0DhsEuezU2kQtPaT85tuPVd1VcFBphNvVmpvVqU9HpURUhCM01WV0IZUkxVOU43UFZMTjExNkYxOS4u>

申し込み締め切り：令和 5 年 3 月 19 日（日）

▼学校における働き方改革フォーラムについて

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/uneishien/detail/1422164_00003.htm

◇◆ トピックス (2)

内閣府「令和 4 年度 青少年のインターネット利用環境実態調査結果（速報）」公表

.....◆◇

内閣府は、「令和 4 年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」の調査結果（速報）を公表しました。

満 10 歳～満 17 歳までの青少年とその保護者（約 6,500 人）、0 歳～満 9 歳の子供と同居する保護者（約 2,100 人）の回答結果によると、7 歳以上のインターネット利用率は 90%を超えていることが分かりました。

平日 1 日あたりの平均利用時間は、前年度から 15 分ほど増加し、低年齢層の子供は約 2 時間 2 分、小学生（10 歳以上）は約 3 時間 34 分、中学生は約 4 時間 37 分、高校生は約 5 時間 45 分でした。

また、インターネットを利用している機器を学校種別で見ると、以下の機器が上位 3 位を占めています。

小学生：1.ゲーム機 2.GIGA 端末 3.テレビ

中学生：1.スマートフォン 2.GIGA 端末 3.ゲーム機

高校生：1.スマートフォン 2.テレビ 3.GIGA 端末

GIGA 端末（学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等）のインターネット利用率は、どの学校種も前年度から 20 ポイント以上増加しました。学校種別で見ると小・中学生は 70%、高校生は 50%と半数に達しており、GIGA 端末でインターネットを利用する機会が増えていることが分かります。

スマートフォンの専有率は、9 歳で 39.2%、10 歳では 61.4%となり、

(3) 不正アクセス

神奈川県 2023年2月9日 私立大学 システム・サーバー 電子メール 48件
北海道 2023年2月27日 国立大学 システム・サーバー 電子メール 553件
群馬県 2019年3月29日 市教育委員会 システム・サーバー 47,839件

(4) 誤送信

鹿児島県 2023年2月9日 国立大学 電子メール 382件
佐賀県 2023年2月15日 県教育委員会 電子メール 30件
東京都 2023年3月6日 私立大学 電子メール 237件

(5) 誤配布

東京都 2023年3月6日 私立大学 書類 1件

(6) 誤廃棄

大阪府 2023年2月15日 市立中学校 誤廃棄 書類 2件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

Security NEXT/NHK NEWS WEB/チバテレ+プラス/京都新聞ウェブサイト/ニュースサイト「毎日新聞」/
北海道新聞「どうしん電子版」/北國新聞デジタル/サイバーセキュリティ.com/ScanNetSecurity/
前橋市ホームページ/Yahoo!ニュース/佐賀県教育委員会ホームページ/ScanNetSecurity/大阪市ホームページ など



□ **【3】** 学校 ICT・セキュリティコラム



◆AI 時代、大切にすべきことは？◆

東京学芸大学附属小金井小学校 教諭 鈴木秀樹

「急激な進化を遂げる AI と共存する時代の子どもたちのために今、何をすべきか？」
この問いについて、ひとまずの考えを小学校 4 年生向けの学級通信に書いてみました。
これが正しいかどうかはわかりませんが、考え続けるきっかけになればな、と思っています。

これから成長するにしたがって「選ぶ」ことがたくさん出てきます。

「クラブ、どこに入ろうかな?」「クラス替えの後、だれに最初に声をかけようかな?」

「中学校、どこに進学しようかな?」「どんな仕事をしようかな?」

「選挙でだれに投票しよう?」等々。

おそらく君たちにとって「選ぶ」ということはますます大事になっていくと思う。

なぜか。AI が急激な進歩を見せているからです。

ChatGPT という AI があります。これは、普通の文章で質問すると、

まるで人間が答えているかのように回答を返してくれるものです。

試してみたら、こんな会話ができました。

鈴木: 冷蔵庫に卵と鶏もも肉とたまねぎがあります。

夕飯のおかずは何を作ればいいでしょう?

ChatGPT: 冷蔵庫にある材料から、鶏肉と卵のオムライス、

または鶏肉とたまねぎの炒め物などが作れます。

また、ステーキや焼き鳥、ポテトと一緒に作る鶏肉と卵のスキレットなども

アイデアとしてはいいかもしれません。

自分の好みやレシピに合った料理を選んでみてください。

これはおっかない時代が来たな、と思うのだよ。

冷蔵庫に卵と鶏もも肉とたまねぎがあったら、

僕なら「親子丼にしようかなあ」と考える。

でも、AI は「親子丼」という選択肢を出さなかったよね。

それを見て今の僕は「AI、わかってないなあ。この材料なら親子丼だよ、親子丼!」

と思うけれど、AI に質問すること、AI のアドバイスにしたがうことに慣れてしまったら

「じゃあオムライスにしようかな」と思ってしまうかもしれないよね。

「親子丼」のことなんてまったく考えずに。

そう、AI がこのまま進歩していけば、人は「選ぶ」ということを

サボるようになっていくのではないかと思う。

本当は色々な可能性があるのに「AI が出してきたこの中から選ばばいいか」というように。

それは、とても効率がよくて楽なのかもしれないけれど、つまらないなあと思う。

だって、今、君たちは僕に「これをしなさい」と決められて勉強するより

「自分でどうやって勉強するか決めて」と言われる方がやる気になるでしょう?

それなのに AI がなんだかもっともらしく

「これかこれかこれで勉強するのがいいですよ」と言ってきて、

それにしたがっていけばいいや、と思うのってなんだか嫌じゃない?

多分、これからの社会、AI を上手に使っていくことはすごく大切で必要なことなの。

それは間違いない。でも、その一方で「自分は何をしたいのか」という想いを強く持つておくことがもっと大切になっていくのではないかな、と思う。だから、自分で「選ぶ」ことができる機会があったら、真剣に悩んで考えて「選ぶ」ようにしておいた方がいいのではないかな。

◆ 執筆者プロフィール ◆

東京学芸大学附属小金井小学校 教諭 鈴木秀樹
慶應義塾大学非常勤講師。東京学芸大学 ICT センター所員。教育学修士。
私立小学校勤務等を経て 2016 年より現職。
著書『ICT×インクルーシブ教育 誰一人取り残さない学びへの挑戦』（明治図書）等。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、2022 年 11 月 18 日に「令和 3 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）
<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>